

2024年度 委員会・事務局の活動概要 ＜中間報告＞

2025年 1 月
一般社団法人日本分析機器工業会



目次

【2024年度 委員会一覧】

1. 企画戦略会議
2. 技術委員会
3. 環境委員会
4. 標準化委員会
5. 労務委員会
6. 知的財産委員会
7. 国際委員会
8. 医療機器委員会
9. 広報委員会
10. 展示会委員会
11. 統計委員会

1. 企画戦略会議

議長：金山 俊彦（日本電子株式会社）

(1) ミッション

理事会の諮問機関として、特命事項や工業会全体の事業を遂行すると共に、委員会事業の進捗をモニタリングし、工業会全体の事業計画を完遂できるよう調整する。

(2) 活動概要

1. 理事会議案の事前確認・委員会事業のモニタリング	1.理事会議案内容の事前確認 (今年度開催実績)2024年4月11日、6月3日、7月5日、10月3日、11月15日、1月8日の計6回開催 ※今年度内に1回開催予定（3月7日） 2.常設委員会事業のモニタリング・コーディネーション及び成果の確認 3.複数の委員会間での調整が必要な案件への対応 4.正副委員長会議開催による各委員会との連携 (今年度開催実績) 上半期：2024年11月1日（年度末：2月開催予定）
2. トピックス	1.今年度事業収支見通しの確認と来年度予算案の作成（下期活動） 2.第1回設立65周年記念事業実行委員会 2024年10月23日（水）13:00-14:00 Web会議 2024年12月19日（木）メール開催・メール審議
3. 小委員会活動 (特定の目的に対応し、企画戦略会議下に設置し活動)	1.展示会企画戦略小委員会 <ul style="list-style-type: none">・「将来のJASIS像」に関する検討 「2030年のJASIS〈目指すべき姿〉」検討資料（2019年5月理事会説明）等を基礎として小委員会再開を検討中 2024年12月26日（木）15:00-17:00 再開前事前ブレスト実施 2. 調達小委員会 <ul style="list-style-type: none">・下請法改正に向けた中小企業庁・公正取引委員会ヒアリング対応 2024年10月17日（木） (支払条件、買ったたき、物流優越的地位の乱用規制、下請法の適用基準見直し等) 2024年12月2日（月）下請法改正についての意見交換

2. 技術委員会

委員長：杉沢 寿志(日本電子株式会社)

(1) ミッション

分析装置及び手法に関する情報の収集・展開・普及、将来展望に関する調査などを通じて、工業会全体及び各会員企業の技術力向上、事業拡大に貢献

(2) 活動概要

1. JASISコンファレンス企画	1. JASIS2024においてJASISコラボレーション を開催 5団体招致。JASISへの新規ユーザの誘致や関連団体とのネットワーク作りに活用
2. グローバル交流 RSC-JAIMA開催	1. 「Bioanalysis for Personalized Medicine」をテーマにRSC-JAIMA をJASISとの併設開催。 参加者数は2日間で延べ216名。学生、外国人の誘致に貢献
3. 技術普及・調査 ラボDX分野の開拓	1. LADS OPCUA規格の普及活動 （講習会、三菱ケミカルとのラボ高効率自動化システム実証（POC）企画実施） 2. JASIS 2024 LabDXゾーン、トピックスセミナーの企画と運営
4. 分析機器の手引きの発行	1. 「分析機器の手引き」 英語版 を校了。JASIS2024で配布。
5. 次世代人材育成支援 中高生サマーサイエンススクール 大学「素材機器分析評価講座」開講	1. JAIMA サマーサイエンススクール 日時：2024年7月25日（木）に科学未来館にて実施。 参加人数：50名、協力企業：14社、使用装置：18機種 2. 『早稲田大学講座 素材機器分析評価』講座 春と秋の2学期に拡大して実施 4単位 全28回。受講者は延べ148名。 3. 早稲田大学における人材育成プログラムの認定 4. 早稲田大学連携協力包括協定締結記念講演 実施（JASIS 2024）
6. ライフサイエンス小委員会 JAIMA—ETC CS Symposium開催等	1. Pittcon2024 (2024/2/24～2/28)にて JAIMA Symposium を開催。 2. 生物工学会との連携 (学会誌への連載コンテンツの対応を継続)

3. 環境委員会

委員長：寺倉 生剛(株式会社島津製作所)

(1) ミッション

分析技術・機器に関する国内や国際的な規制等への的確な業界対応の実施

(2) 活動概要

1. 環境規制の 情報収集	1. 医療・計測・分析・制御機器関連工業会連絡会（呼称：カテゴリ 8 & 9 連絡会）への参画（POPs条約、化審法、RoHS指令、欧州電池規則、米国TSCA等） 2. 在欧日系ビジネス協議会（JBCE）との連携
2. ロビー活動	1. <u>パブリックコメントへの対応</u> 欧州 RoHS指令改正公開意見募集、REACH規則 ABFRs(芳香族臭素系難燃剤)の情報提供 米国 連邦政府GSA(General Services Administration) PFAS削減の情報提供 欧州 POPs規則 デクロンプラス追加案に対する情報提供 米国 メイン州 PFAS規制コンセプト案への意見提出 日本 化審法 NPEの第二種特定化学物質への指定政令案への意見提出 2. <u>日・欧 PFASワークショップへの参加</u> ワークショップに参加し、カテ89製品に該当する分析機器の課題等の説明実施（特に標準物質の免除や分析手法の標準化の必要性など分析機器関連事項説明） 3. <u>インドe-Waste規則改正への働きかけ</u>
3. 環境規制の 情報提供	1. <u>JASIS2024トピックスセミナー（世界に広がる化学物質規制の最新動向）開催企画</u> 「ストックホルム条約最新情報／PFASに関する最新規制状況／欧州環境規制の動向」 2. <u>JASIS2024 JASISスクール企画</u> 「含有化学物質の社内管理のい・ろ・は」 3. <u>カテゴリ 8 & 9 連絡会環境セミナー</u> 2025年2月に開催する環境セミナーの開催準備 4. <u>JAIMA Seasonへの寄稿（4件）</u>
4. 委員会活性化	1. <u>技術検討分科会</u> 毎月第一木曜日に開催し、優先課題、法解釈を精査 2. <u>毎月の委員会</u> 分科会でまとめた情報共有、ホットトピックスの議論、困りごとを議論

4. 標準化委員会

委員長：永田 淳(株式会社島津製作所)

(1) ミッション

分析技術・機器に関する規格・標準化の推進

(2) 活動概要

1. 産業標準化に関する情報の収集及び提供	<ol style="list-style-type: none">1. 標準化委員会(定例)の開催。(4月27日、6月15日、8月24日開催)2. 一般向け標準化セミナーの開催<ol style="list-style-type: none">1) 「日本薬局方セミナー」(JASIS2024トピックスセミナー), 2) 「標準化戦略とは何か」(JASIS2024 JASIS School)3) COMS標準化セミナー3. JAIMA Webページによる情報発信(日本薬局方一般試験法 9.62 計量器・用器、改正について)
2. ビジネス戦略志向の標準化活動の推進(企画立案・実行)、会員支援	会員企業の提案から標準化委員会分科会を設置し標準化を推進。現在5分科会が活動中。 <ol style="list-style-type: none">1) 計測分析データ共通フォーマット及び異なる顕微測定装置間における位置合わせ技術分科会2) 質量測定分科会(日本薬局方通則24「精密に量る」の日米欧三極調和)3) 下水試験法改訂分科会(下水試験方法・水質汚泥小委員会)4) 重要鉱物分析法分科会(ISO/TC298, ISO/TC345)5) JIS K 0102-3 工業用水・工場排水試験方法改正検討分科会
3. 分析関連規格・国際標準化の検討 ・ISO規格提案活動 ・JIS通則改正／原案作成検討	原案作成団体として規格開発等を推進 <ol style="list-style-type: none">1) 「計測分析データ共通フォーマット」及び「異なる顕微測定装置間における共通位置合わせ技術」の国際標準化(国内:JISの普及啓蒙活動, 海外:ISO化に向けて活動中)2) JIS K 0124高速液体クロマトグラフィー通則改正(原案提出済み、今後、JISCにて審議)3) JIS K 0139 レーザーアブレーション誘導結合プラズマスペクトロメトリー通則原案作成(2024年度JIS公募事業)作成期間は2024年10月から2025年5月
4. 外部委員会への委員派遣 ・日本薬局方原案検討委員会 ・JIS原案作成委員会 ・ISO/IEC国内審議委員会 ・その他外部団体委員会への参加	外部の委員会に委員派遣。(24委員会) ＜日本薬局方原案検討委員会派遣＞ 理化学試験法委員会, 物性試験法委員会, 天秤WG(PMDA) (※分科会2で活動中) ＜JIS・ISO・IEC国内委員会派遣＞ JIS K 0102-3 工業用水・工場排水試験方法改正検討分科会(産業環境管理協会) (※分科会5で活動中) JIS K 0170 流れ分析法を用いた水質試験方法 JIS原案作成委員会(日本環境測定分析協会) ISO/TC45国内審議委員会(日本ゴム工業会) ISO/TC47国内対応委員会(日本化学工業協会) ISO/TC61/SC5, SC14国内対応委員会(日本プラスチック工業連盟) ISO/TC146国内対応委員(産業環境管理協会), SC6国内対応委員会(一般財団法人建材試験センター) ISO/TC147/SC2/JWG1(micro plastic), W85(NTA)(産業環境管理協会) ISO/TC298国内対応委員会(新金属協会) (※分科会4で活動中) ISO/TC345国内対応委員会(JOGMEC) (※分科会4で活動中) IEC/TC111/WG3・JWG14 国内対応PG(JEITA) ＜その他＞化学試験方法分科会(日本ゴム工業会), 日化協技術委員会/化学標準化WG(日本化学工業協会), 下水試験方法改定調査専門委員会・水質・汚泥試験小委員会(日本下水道協会), Heガス供給不足等を踏まえた大気・排出ガス分析法検討会(環境省大気環境課), 国際法定計量調査研究委員会 環境・分析計量器作業委員会(日本計量機器工業連合会), 標準物質認証委員会(産総研), JSA産業標準作成委員会(JSA), 日本産業標準調査会 化学・環境技術専門委員会(経済産業省 産業技術環境局 国際標準課)

5. 労務委員会

委員長：渡邊 文平（日本分光株式会社）

(1) ミッション

常設委員会として所掌範囲に属する事項について、調査、研究し又は審査するとともに、必要に応じ関係行政機関及び関係団体に意見を具申

(2) 活動概要

1. 主要労働条件に関する情報交換	<ul style="list-style-type: none">(1) 賃上げ・夏季賞与の状況調査 委員各社より自社の状況を共有(2) 2024年度の委員会活動の進め方について(3) 委員から提案のあった時事課題についての情報交換<ul style="list-style-type: none">・社員勤続表彰制度について・内定者のキープ施策について・障がい者雇用について・インターンシップ実施状況、参加学生への処遇について・営業手当、インセンティブについて・自家用車の業務利用、転勤時の陸送について・在宅勤務者に対するコミュニケーション施策について・更衣時間の労務管理について(4) 人事労務セミナー・異業種交流会の実施テーマについて意見交換
2. 講演会(セミナー)の開催	<ul style="list-style-type: none">1. 開催日時：1月23日（木）15:00～16:00又は16:00～17:002. 開催形式：会議室対面＋オンライン3. 講師：学習院大学名誉教授 今野浩一郎4. 講演タイトル：定年延長に伴う人事管理改革（仮）
3. トピックス的情報交換	<ul style="list-style-type: none">・社宅・手当・日当関係について・新卒採用における職種別採用について・サービス・フィールドエンジニア等外勤者の長時間労働対策について・資格手当の支給状況について など
4. 異業種交流会	<p>訪問先：井村屋グループ株式会社様 テーマ：女性活躍、エンゲージメントを高める取り組み事例 訪問日程：11月29日（金） 参加者：会員企業8名</p>

6. 知的財産委員会

委員長：山西 孝志（日本分光株式会社）

(1) ミッション

- ・分析機器に関する知的財産権の管理推進を目的とする、会員企業への情報提供、会員企業間での情報交換推進
- ・知的財産権に係る行政機関(特許庁)との交流・情報交換推進
- ・分析機器以外の事業分野における企業等の知財管理実務に関する意見交換会の開催
- ・知的財産権に係る実務者(弁護士、弁理士、企業実務者)を招いての講演会開催

(2) 活動概要

1. 知的財産委員会開催	1. 知的財産委員会の開催 2. 実務調査小委員会 <u>「知的財産の価値評価に関する調査検討」</u> を年間の活動テーマとして議論・検討を実施。 3. 商標小委員会 <u>商標実務者による小委員会</u> 。商標実務に関して情報共有・意見交換を実施。
2. 行政機関との交流・情報交換会の開催	<u>特許庁（特許・意匠・商標及び審判審査官）との意見交換</u> (2024/12/6)を実施。審査官27名(対面（19名）、Web（8名））にご参加いただき、特許庁の取り組みのご紹介、および、会員企業からの問題意識の共有。
3. 異業種交流会・講演会	講演会：2024年8月21日、2024年10月16日に実施

7. 国際委員会

委員長：林 奨（株式会社堀場製作所）

(1) ミッション

JAIMA・JASISのグローバル化

(2) 活動概要

<p>1. 海外ビジネスにつながるグローバルネットワークの構築と活動推進</p>	<p>1. エリア別の活動戦略に基づく活動推進</p> <p>1) タイ環境シンポジウム開催（ハイブリッド開催） 日時：2024年11月15日(金)於チュラロンコン大学 参加人数：103名、協力企業：7社、協賛：JEMIMA</p> <p>2) 日中科学家交流会（オンライン開催） 日時：2024年3月予定</p> <p>3) JASISでのアジア各国、欧米友好団体との交流 JASIS 2024にて足立会長と各国団体との会談実施（今後の交流方針確認）</p> <p>2. 各国主要研究機関、大学、行政とのネットワーク構築と戦略活用</p> <p>3. 在日大使館、海外日本大使館、各省庁(経産省、文科省、環境省)、JST、JETRO、産総研等との連携強化</p> <p>4. JASISトピックスセミナーの戦略的活用（電池、製薬DX等） アジア電子特別セミナー実施</p>
<p>2. 新たな社会課題へ対応した活動強化と若手人材育成活動の強化</p>	<p>1. 分析計測におけるAIの進展、カーボンニュートラル等への対応 グローバルな技術の動きと社会課題に対する活動の強化->企画検討中</p> <p>2. スタートアップへの戦略的取組み ->JASIS 2024にてスタートアップコーナー設置(9社出展)</p> <p>3. 中堅若手人材育成ワークショップ->第二期完了、第三期(1～3回実施済み)</p>
<p>3. JASISグローバル化の戦略的推進</p>	<ul style="list-style-type: none">・ JASIS委員会及び展示会企画戦略小委員会との連携推進->委員会活動中（中長期のプランに基づくグローバル化活動の推進）・ 海外ビジネス展開に影響のある各国行政や研究機関の参画検討 ->ITRI(台湾)協議開始・ LinkedIn等海外向け発信力の強化->実施中
<p>4. 輸出管理への対応 (輸出管理小委員会)</p>	<p>輸出管理の課題対応と参画企業間の交流推進</p> <ul style="list-style-type: none">① 外為法リスト規制改正内容の共有② ロシア向け規制内容の共有③ 米国輸出規制動向情報の共有④ 産業構造審議会でも海外拠点向け技術管理強化動向の共有、新たな外為法の非該当技術の事前報告法制化案へのパブコメ対応

8. 医療機器委員会

委員長：折橋 敏秀（株式会社日立ハイテク）

(1) ミッション

臨床検査装置製造者の代表として、医機連活動や国際標準化事業等に参画する。
また、関連情報を的確に収集し、会員に適宜提供する。
さらに、これらの活動を通じて、IVD(体外診断)事業の拡大と発展に寄与する。

(2) 活動概要

1. 他団体との連携	<ol style="list-style-type: none">1. 医機連関連委員会およびWG活動に参画し、医療機器委員会で情報を提供2. 2024年度 動物用医療機器・体外診断用医薬品に関する医薬品医療機器等法講習会（Web配信）の開催。（11/27～12/27）3. (医機連)と広報委員会・魅力発信部会メンバーの体制強化に関する意見交換を実施。医療機器委員会から(医機連)広報委員会へ1名参画開始。
2. 臨床検査の標準化の推進	<ol style="list-style-type: none">1. 臨床検査精度管理調査測定装置コード表更新Webシステムの運用。春の改訂を実施し、JAIMAのHPを更新済。(6月)2. IVD向けEMC国際規格である、IEC61326-2-6 Ed.4のドラフト版（CD：Committee Draft）はCDV版が承認された（3月）。現在、FDIS版を作成中。
3. 国際活動	<ol style="list-style-type: none">1. ISO/TC212/WG3, 5に委員参加、WG1, 2の活動についても情報共有開始。ISO TC212の総会 1名参加。（10/25）2. GDA会議 1名参加。（5/22, 10/8）
4. ライフサイエンスイノベーションへの取り組み	<ol style="list-style-type: none">1. 例年実施していた診断技術に関する勉強会は今年度見送り。来年度の進め方について検討継続。
5. 公正取引の徹底	<ol style="list-style-type: none">1. 公取協分析工支部にて公正競争規約勉強会の開催予定。（2025/2, 200名予）2. 公取協本部開催の新インストラクター養成講座への積極参加を呼びかけ。10

9. 広報委員会

委員長：伊藤 裕基（株式会社日立ハイテク）

(1) ミッション

JAIMAの国内外の認知度/知名度向上および会員サービス向上を目的とした広報およびプロモーション活動の実施

(2) 活動概要

<h4>1. JAIMA WEBサイト等による情報発信</h4>	<ol style="list-style-type: none">1. 会員向けメルマガ「JAIMA通信」 累計110号配信（24年10月）。2015年7月以来、原則、毎月発行継続2. JAIMA Web運用、情報発信 ニュースなど平均5件/月の更新を実施。3. LinkedInのプロモーション 国際委員会との連携により継続し、2024年上期、58件の投稿をサポート。フォロワーも500名達成。（海外向けSNS配信を増やし、JAIMAの海外へのパフォーマンス強化）
<h4>2. 『JAIMA Season』の定期刊行</h4>	<ol style="list-style-type: none">1. 4、7、10月（176-178号）を定期刊行。1月号（179号）を刊行予定(1/27)。2. 1月号の特集記事では、JASIS WebExpo 2024結果報告に加え、早稲田大学協力講座をピックアップ。3. 「機器分析が支える、豊かな暮らしと産業のフロンティア」を連載中。（各分析機器が活躍する事例を紹介するコンテンツ。生活に近い分野や産業発展における分析機器の役割に関する解説記事を工業会内外に執筆依頼。JASISトピックスセミナーのテーマを中心に記事候補を選定（179号ではマイクロプラスチックを取り上げ、金沢大 古内先生よりご寄稿）。
<h4>3. プレスリリース等によるJAIMA情報の外部発信</h4>	<ol style="list-style-type: none">1. プレスリリース数4-12月実績：12件（うち海外向け1件）（1-3月予定:3件）2. JASIS 2024記者会見：参加メディア数 17媒体24名（昨年24社29名）期間中の来場メディアは37媒体62名と増加。今年からJASIS広報事務局とのリリース協力など連携開始。3. 各委員会と連携し、メディアを通じた外部発信を推進中。

10. 展示会委員会

委員長：傍嶋 真(株式会社堀場製作所)

(1) ミッション

JASISの開催を通じ、国内外プレゼンスを向上させ、業界発展に貢献する

(2) 活動概要

<p>1. JASIS関西2025開催準備 会期:2025年1月29日(水)-31日(金) JASIS2025開催準備 会期:2025年9月3日(水)-5日(金) WebExpo開催準備 会期:2025年7月4日(金)-10月31日(金)</p>	<p>●JASIS関西 申込状況：171小間完売（全171小間）、ソリューション残り3小間、新技術30分21社66テーマ（昨年20社47テーマ）、60分5社6テーマ（昨年6社15テーマ）1月開催へ向けて準備順調。</p> <p>●JASIS2025、WebExpo JASIS2025目標：来場者24,000名、小間数：1,300小間、出展社数：450社 WebExpo目標：閲覧者35,000名、掲載出展社300社</p> <ul style="list-style-type: none">・2025委員会新体制発足（4委員会、4WG）、2024年11月スタート。・来場者導線を見直し会場を大きくレイアウト変更（スペース小間拡張）。・デジタルマーケティング強化。JASIS活動ならびにWebExpoを積極アピールを実施。
<p>2. JASIS2024開催 会期:2024年9月4日(水)-6日(金) WebExpoの開催 会期:2024年7月5日(金)-10月31日(木)</p>	<p>●JASIS2024実績 出展総小間数：1,214小間（昨年1,096）、出展社数：407社（昨年345） 来場者数：21,918名（昨年16,115名） 1ホール当たりの来場者数：5,480名（JASIS過去2番目） 1社あたりの来場者数：平均54名（JASIS過去最多）</p> <p>来場者アンケートをふまえて、JASIS2024の印象について「成果を得た」、「大きな成果を得た」との回答が全体の78.9%（昨年77.8%）。また出展社も「有益だった」、「大変有益だった」を合わせると88.2%（昨年85.2%）となり、出展社・来場者共にコロナ禍（60%台）を大きく上回る良い評価をえられた。</p> <p>●WebExpo2024実績 閲覧者：31,171名（昨年11,950名 約3倍増） 掲載出展社数：251社（昨年30社 約8倍増）</p> <p>来年へ向けて更に申込数を増やすために、Web企画小委員会にて改善活動を継続中。</p>

11. 統計委員会

委員長：須藤 深雪（株式会社日立ハイテクサイエンス）

(1) ミッション

分析機器に関する出荷額、受注額等の需給動向調査
分析機器の生産、流通、貿易及び利用に関する調査

(2) 活動概要

<p>1. 会員の統計データの収集及び配布</p>	<ol style="list-style-type: none">1. <u>2023年度第4四半期（2024/1～3）、2024年度第1四半期（2024/4～6）、第2四半期（2024/7～9）の生産高・輸出高・輸入高</u>を理事会報告、工業会会報掲載、経産省報告 （統計委員会開催：2024年5月23日、8月21日、11月8日）2. 内閣府 経済社会総合研究所の景気動向指数や法人企業景気予測調査などから、景気の現状把握を実施。
<p>2. 海外協力団体とのデータ交換及び配布</p>	<ol style="list-style-type: none">1. <u>欧米の友好団体（ALDAとEUROM II）と受注統計データを交換し、世界市場データとして会員に提供（国際委員会と連携）</u>



12. JAIMA事務局

専務理事：松浦義和（一般社団法人日本分析機器工業会）

委員会事業以外の主な工業会活動の概要

1. 総会・理事会等の開催	<ol style="list-style-type: none">2024年度定時総会開催（6月10日）2024年度理事会開催（4月、5月、7月、9月休会、10月、11月、1月） （年度内に3月開催予定）2025年新年代表者懇談会、賀詞交歓会開催（2025年1月14日開催）
2. 各種行政機関等への協力	<ol style="list-style-type: none">経済産業省、厚生労働省関係の各種通知、公募情報、各種表彰制度募集、法規関連情報等のJAIMA Web掲載、会報掲載、会員向けメール送信により 会員に情報提供実施経済産業省、文部科学省等からの照会、ヒアリング対応行政機関からの依頼による各種調査の実施日本工業標準調査会（JISC）、（一財）安全保障貿易情報センター（CISTEC）等への専門家等の派遣。
3. 生産性向上要件該当証明書発行 （中小企業関連税制対応）	生産性向上証明書発行件数実績 2023年 305件 2024年 279件
4. 分析機器に関する製品安全化事業 （団体PL保険制度実施）	2024年度団体PL保険契約件数 ① 海外を対象とする「海外団体PL保険制度」の参加会員 7件 ② 国内を対象とする「国内団体PL保険制度」の参加会員 3件 ③ CGL保険（企業総合賠償責任保険）の参加会員 13件
5. 環境省「ESGリース促進事業」の 会員機器登録支援	環境省「ESGリース促進事業」の対象機種（分析機器）への会員の機器登録の支援実施〔2024年9月末時点で775機種登録済〕
6.取引適正化推進（協力企業との適正取引 の推進に向けた行動計画）	<ol style="list-style-type: none">岩田経済産業副大臣と産業機械6団体との懇談会（高木副会長出席、4月6日開催）協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画改定実施（6月）協力企業との適正取引の推進に向けた自主行動計画フォローアップ調査（10月-11月）、経産省に結果報告
7. 分析機器工業の経営実態調査	会員対象に5月以降調査実施。
8. 後援・協賛名義等の使用承認	2024年度上期は、外部の展示会、セミナー等に対し、当工業会の後援・協賛・共催名義等の使用を15件承認